

平成19年11月15日

特定都市鉄道整備事業実施状況

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村 敏昭）の特定都市鉄道整備積立金につきまして、平成19年度上期の積立金額及び取崩額が次のとおり確定いたしましたので、お知らせいたします。

当社では、現在、東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転を行うため、東横線渋谷駅～代官山駅間地下化工事、特急・通勤特急・急行列車の10両化（現行8両）対応工事を柱とする、「東横線渋谷～横浜間改良工事」を進めております。同工事は、特定都市鉄道整備積立金制度に基づき、平成17年3月20日の運賃改定以降、半期ごとに鉄道旅客運送収入の2%を積み立てており、この積立金を工事費の一部に充当することにより工事の促進を図ってまいります。

また、田園都市線の輸送力増強策として「大井町線大井町～二子玉川間改良工事および田園都市線二子玉川～溝の口間複々線化工事」を進めております。同工事は特定都市鉄道整備積立金制度に基づき、平成7年9月の運賃改定以降、半期ごとに鉄道旅客運送収入の1%を、平成9年12月の運賃改定以降は2%をそれぞれ積み立て、その積立金を工事費の一部に充当することにより工事の促進を図ってまいりましたが、平成17年3月19日に認定期限を迎えたため積み立てを終了し、平成17年度より取り崩しを開始いたしました。

さらに、東横線の抜本的な輸送力増強を図るため「目蒲線（現目黒線）目黒～多摩川園（現多摩川）間改良工事および東横線多摩川園（現多摩川）～日吉間複々線化工事」を進めております。同工事は特定都市鉄道整備積立金制度に基づき、昭和63年5月の運賃改定以降、半期ごとに鉄道旅客運送収入の5%を、さらに同制度改正に伴い平成7年9月の運賃改定以降は9%をそれぞれ積み立て、この積立金を工事費の一部に充当することにより工事の促進を図ってまいりましたが、平成9年12月に認定期限を迎えたため積み立てを終了し、平成10年度より取り崩しを開始いたしました。平成12年9月より目黒線は目黒駅を經由して営団（現東京メトロ）南北線および都営三田線と、平成13年3月より営団（現東京メトロ）南北線を經由して埼玉高速鉄道線とそれぞれ相互直通運転を開始し、新しい鉄道ネットワークが誕生いたしました。

このたび、平成19年度上期決算による積立金額及び取崩額が確定いたしましたので、工事の進捗状況とあわせてお知らせいたします。

記

1. 積立金額

《東横線渋谷～横浜間改良工事》

平成18年度までの積立金額	4,947	百万円
平成19年度 上期積立額	1,275	百万円
累積積立額	6,222	百万円

なお、平成19年度上期の積立金は特定都市鉄道整備促進特別措置法に基づき、平成19年11月29日(木)に指定法人である(社)日本民営鉄道協会に積み立て、今後、工事の進捗にあわせて工事費に充当していく計画です。

2. 取崩額

《大井町線改良工事および田園都市線複々線化工事》

平成16年度までの積立金額	18,934	百万円
平成18年度までの取崩額	3,787	百万円
平成19年度 上期取崩額	946	百万円
積立金残高	14,201	百万円

《目蒲線改良工事および東横線複々線化工事》

平成9年度までの積立金額	53,072	百万円
平成18年度までの取崩額	47,765	百万円
平成19年度 上期取崩額	2,653	百万円
積立金残高	2,654	百万円

3. 工事の進捗状況

《東横線渋谷～横浜間改良工事》

・渋谷駅～代官山駅間地下化工事

渋谷駅建設工事は平成14年5月に工事着手し、現在は平成20年6月の東京メトロ副都心線開業に向け、建築・電気等の設備工事を行っております。

また、副都心線との相互直通運転に向けた渋谷駅から代官山駅までの範囲については、現在、杭打ち工事及び掘削工事を行っております。

・長編成化・速達性向上工事

長編成化工事に先立ち、自由が丘駅では平成19年3月までにエスカレーター6基、エレベーター4基を設置いたしました。

《大井町線改良工事および田園都市線複々線化工事》

・二子玉川駅改良工事

平成11年9月に田園都市線と大井町線の入れ替え工事が完了し、終点方引上げ線の供用を開始し、同一方向同一ホーム化を図りました。平成12年9月には、駅舎が完成いたしました。

・二子玉川～溝の口間線増工事

平成14年1月に工事着手し、二子新地駅部では平成18年7月に上り線の線路切替が完了し、新設ホームでの供用を開始いたしました。高津駅部では下り新設ホームの躯体および上家の築造が完了し、現在はホーム設備工事を行っております。

二子新地～溝の口間では、拡幅高架橋の構築がほぼ完了し、線路敷設工事を行っております。

・溝の口駅改良工事

平成8年6月に工事着手し、駅部分の構築はほぼ完了しております。また、平成17年4月に駅終点方での引上げ線部分の工事にも着手し、現在は道路の付替えおよび線路の拡幅工事を行っております。

・梶が谷車庫新設工事

平成17年2月に工事着手し、一部を除き、法面の切取りならびに車庫線の路盤工事が完了し、現在は車庫線の線路敷設工事を行っております。

- ・大井町駅改良工事

平成14年11月に工事着手し、ホームの延伸および拡幅工事は平成18年2月に完了いたしました。

- ・旗の台駅改良工事

平成14年1月に工事着手し、2面4線化のための急行待避線側の高架橋構築が完了しました。現在は中線の線路敷設および上家工事を行っております。

- ・自由が丘駅改良工事

平成19年7月に工事着手し、現在はホームおよび上家の延伸に支障となる施設の撤去・移設を行っております。

- ・等々力駅改良工事

平成15年6月より調査工事に着手し、平成17年12月「第五回等々力駅地下化工事技術検討委員会」において、等々力駅地下化工事の地下水・地盤環境における技術的な総括がなされました。その後も、隣接する等々力溪谷が東京都の指定名勝として文化財に指定されていることから調査を続けてまいりました。今後は計画についてさらに検討を進めてまいります。

- ・ATC化工事

大井町線のATC新設工事は、設置した機器の調整および現場機器等との接続・照合試験がほぼ完了し、標識類等の設置を進めております。今後は、走行試験を実施しながら最終調整を行い、平成20年2月の切替を予定しております。

《目蒲線改良工事および東横線複々線化工事》

- ・目黒駅改良工事

平成9年7月に目黒駅の地下化切替が完了し、地下1階、地下2階の躯体工事は平成10年9月に完了いたしました。

- ・目黒～洗足間立体交差工事

不動前駅は、平成11年10月に直上高架切替を行い、高架駅となりました。これにより目黒1号踏切が立体交差化されるなど2カ所の踏切が解消され、平成15年1月には高架橋区間が竣工し、駅舎改良工事が完了いたしました。

また、平成18年7月に不動前～洗足駅間を地下化し、武蔵小山・西小山駅については地上駅から地下駅となり、既に解消済みの2カ所の踏切を含め18カ所の踏切が解消されました。現在は地下化により不要になった地上部の既存鉄道施設の撤去や埋め戻し等の工事を行っております。

- ・洗足駅付近施設改良工事

洗足駅は平成12年12月にホーム延伸（6両対応）工事を完了いたしました。

- ・大岡山駅改良工事

平成9年6月に目蒲線上り線を切り替え、4線全ての地下化が完了しました。駅地上施設は平成10年12月に完成いたしました。

- ・洗足～奥沢間施設改良工事

奥沢駅は平成12年8月にホーム延伸（6両対応）工事を完了いたしました。

- ・多摩川橋梁～武蔵小杉間線増工事

平成9年8月に多摩川～武蔵小杉間の東横線上り線を、平成11年5月に下り線をそれぞれ本設高架橋へ切り替えました。また、平成11年11月に武蔵小杉終点方の東横線上り線を切り替え、目黒線折り返し施設が完成いたしました。

- ・武蔵小杉～日吉間線増工事

平成12年4月に着手し、武蔵小杉～日吉間では東横線部分の構築が完了し、新設軌道の敷設、電気工事および新設の駅舎工事を進め、平成18年9月に東横線の高架化切替工事を行いました。切替に合わせ元住吉駅を高架化し、鉄道と交差する都市計画道路尻手黒川線の逆立体化工事を実施いたしました。平成20年6月の目黒線日吉延伸に向け、引き続き目黒線部分の工事を進めてまいります。

- ・ATC化工事

目黒線のATC新設工事は、平成12年8月に完了いたしました。

以上

(